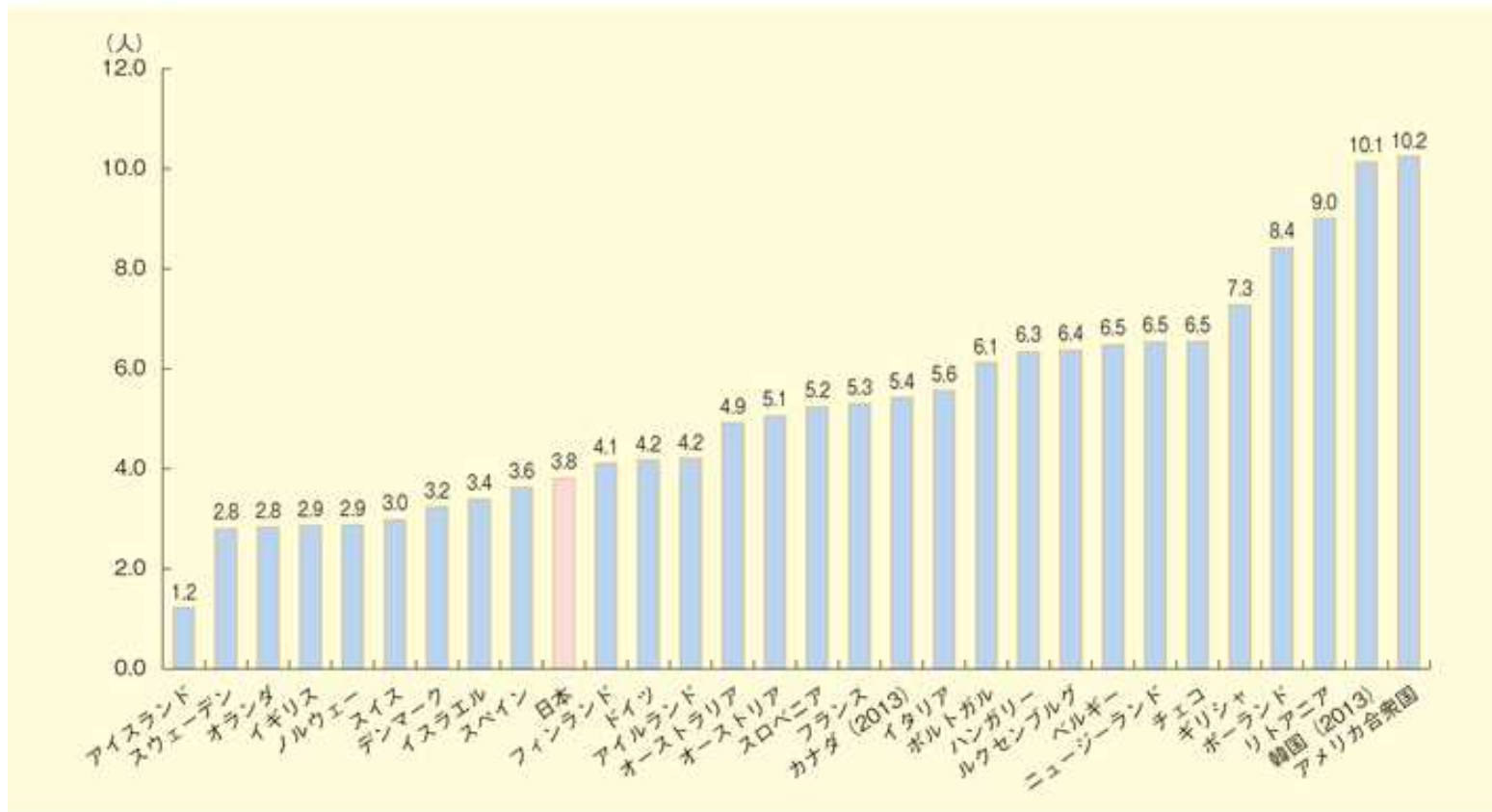


# 海外における交通事故発生状況

---

# 人口10万人当たりの交通事故死者数(2014年)

▶第1図 人口10万人当たりの交通事故死者数(2014年)



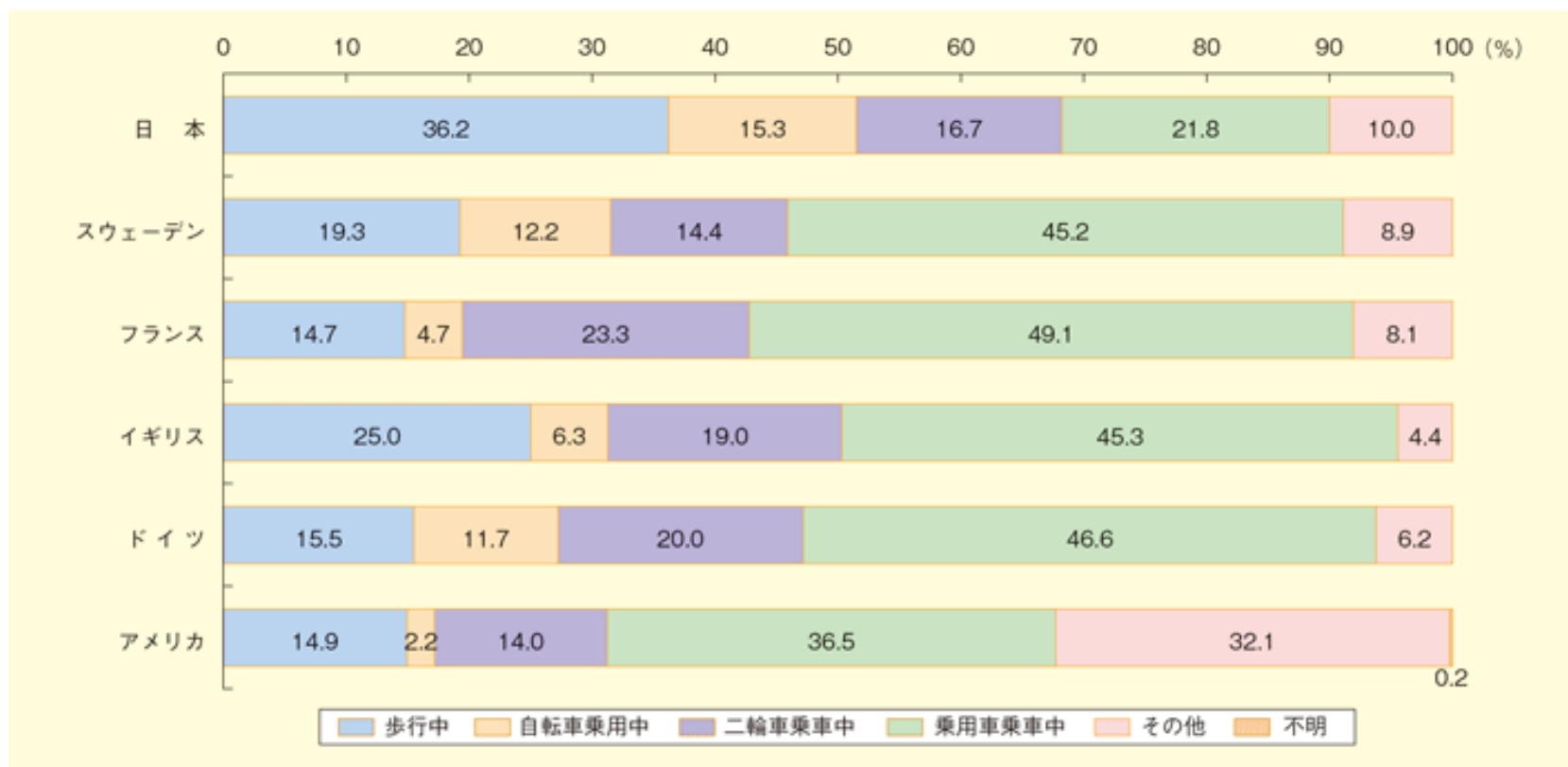
- 注 1 IRTAD資料による。
- 2 国名に年数(西暦)の括弧書きがある場合を除き、2014年の数値である。
- 3 数値は全て30日以内死者(事故発生から30日以内に亡くなった人)のデータを基に算出されている。

内閣府「平成28年版交通安全白書」より

○国際道路交通事故データベース(IRTAD)がデータを有する30か国について、人口10万人当たりの死者数を比較すると、我が国は3.8人(2014年)であり、第10位に位置している。

# 主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率(2014年)

▶ 第3図 主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率 (2014年)



注 1 IRTAD資料による。  
2 数値は状態別構成率

内閣府「平成28年版交通安全白書」より

○我が国と主な欧米諸国(アメリカ, ドイツ, イギリス, フランス及びスウェーデン)の状態別交通事故死者数の状況を見ると, 我が国は乗用車乗車中の死者数の構成率が低く, 歩行中及び自転車乗車中の死者数の構成率が高い。

▶ 第4図 主な欧米諸国の年齢層別交通事故死者数の構成率と人口構成率 (2014年)



注 1 IRTAD資料による。  
 2 数値は構成率 (%)  
 3 内円は人口、外円は交通事故死者数

内閣府「平成28年版交通安全白書」より

○我が国と主な欧米諸国(アメリカ, ドイツ, イギリス, フランス及びスウェーデン)の年齢層別交通事故死者数の状況を見ると, 主な欧米諸国では, 15~24歳の年齢層の構成率が我が国よりも高く, 人口構成率を5~10ポイント上回っている。我が国は, 65歳以上の年齢層の構成率が際立って高い。